滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

…六吊百至六三吊二百
紅糖價錢五吊四百文至五吊
集…共上車三十餘輛
邊車共來七十餘輛
元…六吊九百至六吊八百

一連紙　一連
一フールスカツプ全　全
一中判洋紙　百枚　四圓
一半紙野紙　二圓　二十錢
一卷紙　四十枚續　十四錢

一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料…一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告
▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番 支配人室　百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
相模丸　五月八日出帆　太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行、
立神丸　十一日出帆　太沽、芝罘、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
末明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
日海丸　五月五日　門司行
金龍丸、大龍丸、國見丸　臨時芝罘定期
萬成源丸　龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮洲丸　入港乘客謝絕
汕頭丸　五日出帆　神戸直行
代理店
ブンシユ兄弟商會
東營口公園地橫
遠來洋行（電話二十三番）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需　國本主人啓

宅洋行
啓者敝行專賣綿絲粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋襪火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麪糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷　總司理人葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚邇通知之　正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號
保裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈　營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸　丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撻利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　顯朝丸　專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有滿國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷　松茂洋行（電話五十一番）

三井洋行　電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

生徒募集
營口瀛華實學院招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し既に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齢者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし　營口瀛華實學院
本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

新荷着
▲板材木　▲木炭
▲生石灰　▲竹
▲亞鉛板　▲洋釘
▲日本米　▲疊
營口永世街八十號
喜久洋行（電話百五十二番）
啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨食物器具酒烟等代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧　總司理主人周鶴雲　運輸部主任高濱麟太郎　謹啓

鐵道遼河　裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門（電話八十一號）

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕候其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）　小島榮歲

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
營口西北街（電話一八番）　牛家屯停車場構內（電話四六番）
丸重洋行

材木販賣　荒物
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃開設　營口南永世街北斗洋行
西　營口西北街塘子胡同內

上海　中井洋行　專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也　中井洋行

自造　煉瓦●瓦　並に各種石材販賣
營口青堆子　加州組（電話八十六番）

發賣
料木、杆子一丈一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣
營口元神廟街　捌荷洋行（電話一四七番）

東京電報

●觀兵式出場人員 大觀兵式出場人員は將校二千百二十四名准士官以下二万九千七十九名合計三万一千二百〇三名なり

●參加聯隊旗數 當日觀兵式に參加せし名譽の聯隊旗は百十九行軍の長さは實に三里に達せり此日軍用輕氣球も飛揚せられたり

●直訴者捕縛さる 觀兵式終り御還幸の途中鳳輦に向ひ直訴を企てたる者ありて捕へられたり

●市中の金融 市中の金融は依然緩漫日本銀行は五月一日より歩合二厘方引下けたり

●京釜鐵道買收期 京釜鐵道買收期は來たる七月一日なり

●紀念盃下賜 今日(一日)新宿御苑に召されたる者六千三百名は紀念盃一個宛下賜せられたり

●大島總督の寄附 大島總督は金一千圓を東京基督青年會に送りたり

●華族の招待 在京華族は各元帥以下將校を華族會館に招待せり

●大勅祭行幸 五月三日兩陛下には招魂社大勅祭に行幸され四日皇太子殿下成らせらると

●桑港震災後聞 上野領事の公電に依れば桑港は秩序回復され戒嚴令も亦撤去されたり當地の日本正金銀行は三十日より支拂開始の豫定居留地の商店銀行皆燒燬死者は各國人を合せて二百九十五負傷者九十三名なり

●村上大佐無罪となる 村上大佐は審問の結果無罪と判定せり

●長官會議と大臣の演説 地方長官會議に於て寺內牧野坂谷各大臣の訓示演説ありたり

●天盃下賜 昨日(三十日)の新宿御苑の酒宴に於て陛下は大勳位元帥大臣大將等五十名を一人宛御前に召され天盃を賜ひ陸海軍將官百五十名及感狀授領の佐尉官九十六名に親しく天盃を賜へり其他參員一同に紀念盃一個宛を下賜山縣元帥は勅許を得て其發聲にて陛下の萬歳を三唱し龍顏麗はしかりき

●海軍晩餐會 齋藤海軍大臣東郷大將の主人側なる海軍晩餐會は非常の盛況なり

●酒饌料下賜 大觀兵式參列の下士卒及參列以外の陸軍將校下士卒に酒饌料下賜の御沙汰ありたり

●蒙古王の入學 來遊せし蒙古杜爾哈圖王は振武學堂に入學せり

●海軍春期演習 六月二十四日より三十日迄伊勢灣と横須賀間にて第一第二兩艦隊春期聯合大演習を催す由 (以上五月一日發)

●靖國神社大祭 本日の靖國神社大祭に勅使として園宅掌典の參候ありて陸海軍將官以下將校の遺族其他の參拜ありて非常に賑ひたり

●東宮殿下御招宴 皇太子殿下は本日午後四時觀兵式參加の各宮殿下及陸軍將校其他二千五百名を新宿御苑に召され御宴を催ふされたり (以上五月二日午後八時發電)

北京電報

●滿洲善後處分案 清國大官の上奏せる滿洲善後處分の要點左の如し 遼河滊船會社設置の事、撫順炭坑を日本より買收して官業とする事 東清鐵道總辦を置き日露兩國と該鐵道を監督する事、奉天新民廳間鐵道を速に買戻す事、遼東に自治制度を置く事、遼東の日本租借地附近に税關を設置する事

●南昌教案落着 仝案は清國の讓歩にて落着を告けたり

●林大使上海發 林大使は上海にて各國領事等の訪問を受け三十日同地を出發したり

●米國の領事館設置 米國は安東縣に領事館設置の計畫を中止し哈爾賓及膠州灣に新設すへしと傳ふ (以上五月二日午後九時半着)

倫敦電報

●英國皇帝の御還幸 英國エドワード皇帝は今日滊車にて英國に向ひチープルスを出發す聞く所に依れは斯く俄かに地中海より出發するは土耳其埃及間の形勢不穩なるに因るアレキサンドラ皇后陛下は御座船ミネルベ號にて皈途に就きエルアリシに到着せり

●砲兵中隊の出發 砲兵中隊は五月中旬ナタルに向ひ埃及より出帆す

●伯林新紙の辨解 伯林ノルド、ドイツチエ、アルゲマイネ新聞は土耳其の頑固なるは獨逸の後援あるに因ると云ひ又は獨逸か埃及に於ける英國の勢力を破壞せんことを求めつゝありと云ふは理由なきことなりと辨明す

●ポスト新聞の論調 伯林ポスト新聞は英國は埃及に於ける現狀を攪亂することを恐ふ能はす土耳其政府か少しも早く此點を認むるを望むと云へり (以上四月三十日發電)

●茶税輕減の實行 五月十七日以後一斤に付き一ペニー宛茶税を減することゝなる

●巴里退去者續出 クレマンソーは五月一日に秩序を維推し得へきことを保證せしも去る二十九日巴里を去るもの非常に多く鐵道會社は止むを得す列車の回數を增加せり (以上五月一日發電)

雜報

●平和會議と露國 彼得堡に於て發表されたる第二回平和會議に就き露國に與たへる宣言中には同會議開催の主導者として單に露帝のみを稱して米國大統領を加へず且つ其の叙辭には一千八百九十八年の第一回會議開催の根本主義たる列國武備の輕減及武裝の平和時代に代ふるに萬國仲裁裁判に據れる平和時代を作らんとの希望に就ては一言の之に及ぶ所なし却て明かに此の主義を排斥し單に會議の問題として日露戰爭に關し發生したる主要問題のみを揭げ來り最も重要なる陸海軍備の制限等に就ては毫も陳ぶる所なしと云ふ

●露軍の撤兵情形 政府側の報告に露軍は長春以北の部分漸次撤退し條約期限には全部撤退を終るべしとあるに拘らず同地よりの新消息及び清國側の報告に據れば露軍は毫も撤退の誠意を有せず哈爾賓の如きは却て武備を整頓するの狀ありと云へり某外交官の判斷する所に據れば露軍は表面上は兎も角も撤退すべしと觀察せらる然れども彼等は鐵道守備隊の實員を條約面に倍加せらるべく殊に清國に對して交渉談判の決了せざる間に益々戰備を懈らざるの態度を保持するに躊躇せざるべし云々

●兩院議員の行賞 曩に日清戰役の論功行賞にては貴衆兩院議員は金盃一組を下賜せられ議長副議長のみに敘勳の御沙汰ありしが今回も夫々代議士に對して論功行賞あるべき由にて聞く所によれば貴衆兩院議員共一般に敘位の御沙汰ある筈にて從五位以上夫々勳勞に應じて授けらるゝ由なるが既に位記を有する代議士は各ゝ一級を進めらるゝ由なれば曾て內閣に列して正三位の肩書を有する人々は從二位となる都合なりと

●漁業權問題と漁税 樺太に於ける漁業權問題の前途は依然として暗黑なるより同島南部の各漁場中嘗てクレマレンコ、セメノフ、ビリツヂ等の長期漁權を有せりと稱する漁場主金寶連は目下鯡の好漁期なるに拘らず幾分放資を躊躇しつゝある傾きあり延いて來月中に納付すべき二十餘萬圓の增税徵收に就ても少からぬ障害を呈すべしと當局者は憂慮しつゝありと

●陸氏の要政十策 近時清國朝野の間滿洲に注意を拂ふ者日に增加し苟も論して言滿洲に及はさる則ち人に非すとせらるゝの風潮あり陸寶忠亦三省の現象危迫せりと叫破し要政十策を擬定し速に舉辦すへきを奏上せり一に曰く二口を經營すると二に曰く遼河を疏治すると三に曰く撫順炭礦を採掘すると四に曰く東清鐵道を監理すると五に曰く安東鐵道を贖還すると六に曰く大連灣稅關を設置すると七に曰く十八處通商口岸の準備八に曰く間島を監視すると九に曰く馬賊を平靖すると十に曰く遼東法權を收回すると即ち是れ

●遼陽短信 五月一日 綠城生

▲日本人會長の重任 四月二十五日日本人會評議員は日本人會事務所に參集し會長の互選を行ひたる結果前會長有馬組の內海衛門氏當選し重任する事となれり尙副會長は代々木商會小野幸次氏當選せりと

▲紅裙隊の鳥港行き 一時花柳界の殷盛なるに乘し數多の紅裙隊すきも切らず陸續入り込みたるが軍人の大部凱旋皈還したるより花柳界に一頓挫を生し近來不景氣の聲は誰言ふとなく傳はりぬ夫れかあらぬか先頃二三の劣妓は鳥港に渡らんとて芝罘に向け出發したる由なるが尙鳥港行を企ておる此の種の劣妓數名ありと云ふ

▲撫順炭坑の人員陶汰 四月二十三日同炭坑採炭班に於て事務員以下七十餘名の人員陶汰ありたるが何れも軍屬なるを以て一應募集地なる原師團に還送し始めて解除となる由尙第二回の陶汰も遠からず事實となりて現はるへしとの噂なり因に東北窮民百五十名は同炭坑に使役する筈にて不日來着すへき豫定なりと云ふ

●內田公使と萩原書記官 近々歸朝の途に上るへき內田駐清公使は直隷總督袁世凱に告別旁ゝ昨三日公使館員及公使館附武官を隨へ天津に向ひし由なるか同地には三四五の三日間滯在居留民有志の送別會をも受け六日北京に歸着多分十日頃歸朝の途に上るへき筈なりといふ又奉天開放と共に奉天總領事に擬せられ居る萩原大使館一等書記官は過日來北京に滯在中なりしか內田公使一行と共に下津せるを以て豫報の如く同しく六日を以て一行と別れ當地に來るへしといふ

●橋口鐵嶺軍政官の着任 嚮に川崎軍政官死去以來鐵嶺軍政署軍政官を缺くと將に三個月に垂んとせる所新任軍政官橋口中佐は愈ゝ去る四月廿七日を以て任地鐵嶺へ到着せる由鐵嶺は由來露國か滿洲中部唯一の防禦陣地として將た又遼河上游の物資集散地として頗る其地位を重要視し以て諸般の經營施設を行ひしに奉天の戰役遂に一擲して我に委せさる可からさるの已む無きに至れりと雖も鐵嶺か軍事上商業上に於ける地位の重要なるとは依然として渝れるを見す任に此地に莅む者以て夙夜に努力せさるへけんや

●溝幇子附近の馬賊 近時滿洲內地到る處馬賊の出沒を見るは屢ゝ報道を經る所なるか去月三十日溝幇子より來營せる一清人の談に依れば同地馬廠方面の地には此頃馬賊四起せる由なるか首領には趙擧李文成の二人あり奉天省廣寧縣の人民にして徒黨三十餘名あり或は掠奪を擅にし或は婦女を褻する等橫暴到らさる無く常に溝幇子東馬廠千家塞廟附近を根據として田庄臺へも往來すといふ

●本願寺連枝の出發 昨紙記載の如く本願寺の清國開教總監積德院連枝は昨朝九時牛家屯へ着せられ當地本願寺出張所駐在の寺本布教師は多數の信徒及び有志者と共に出迎せり連枝は暫時守備第三大隊本部に於て休息の後ち小蒸氣にて遼河を下り滿洲ホテルに投宿せられたるか隨行は嘗て多年英國龍動府に留學せられたる龍江義信及び堀賢雄の兩布教師にして今朝八時河北の關外停車場より北京へ向け出發せられ寺本布教師は多數の信徒及び有志者と共に見送られたりといふ

商況

▲紙巻煙草 煙草專賣局製造紙巻煙草の近況を當地專賣店代々木、江副の兩店に就て聞くに一般賣行は昨年とは到底比較すべからざるも相當の需要者ありて絶えず輸入し居れり殊に清人の嗜好に適し十數年來獨占の英米トラストの製造にかゝるピーコックに對抗せんとて代々木商會にて特に注文せし兩切ロングライフは製造に嶄新を加へ商標其他總てに於て清人向需要を專一とし種々苦心をなしたる結果近來餘程販路擴まり一ケ月二百捆內外の賣行ありと云ふ又口付朝日も頃來清人側に好評を博し相應の賣行ありと由來清人の好で用ゆる所の者は兩切品なれば朝日の如きは到底販路を擴張するは六ツケ敷からんとは何人も想像する所なるに斯くの如き事は實に豫想外なりと云ふ今昨今の相場を聞くに

ロングライフ	(三十箱入)	四十一圓
スター	同	四十七圓
チエリー	同	四十四圓
リリ	同	四十一圓
朝日	(二十箱入)	十八圓
大和	(五十箱入)	五十二圓五十錢
敷島	同	六十七圓

▲外國煙草 舶來煙草が關税の關係上本邦品よりは非常に安價なる故か內地にては中流以上の紳士にあらざれば到底喫煙し得られざる上等品も頗る廉價なるを以て當地にては上下を通じて喫煙せる傾あり其價は種々等差あるも一圓(百本入)より二圓位迄の品一般に需要多き摸樣なり

投書かご

▲料理屋及び旅館の中には隨分無理な事をして誤娼賣なさるのもある少しは本人の身を思ふて貰ひたい身體あつての物だめし行先の黴毒が恐ろしい(女學生)▲私は本年當地の開氷以後始めて參りましたが國元出發當時は雜貨店の召使女として御約束しましたが大に間違で來て見ると雜貨店では無くて落花店毎日稼業に追ひ廻されて只今では全く娼賣人と爲りました(誤娼賣人)▲衣至骭兮袖至腕を高歌して末は博士か大臣を氣取りつゝありし學生の多くはヤツコラサと赤門や專門大學を出づるや否や今更のやうに弱音を吐て東奔西走腰辨運動を開始して美ん事社會の初陣に敗北し只管伯樂の無きを嘆して居るさうな斯る連中は宜しく新開地に來るべしだ見よ夫れ內地では一向名も知れぬ先生が急に豪く爲り威儀堂々唯我獨尊丸で無鳥島の蝙蝠やうの御威勢で無いか？ 來れ腰辨候補者!!(裏面觀測生)▲お芋出身の快男兒柴野君よ左程に世の中を悲觀せずに君か國許を出させる時の五年計畫の抱負を實行し給へ君が朝鮮渡航後某師團の酒保として從軍せられてより三年しか立たぬ五年にはまだ跡二個年の長月日があるから滿洲に於ける青年獨立自營者として耐忍して大々的奮起し豫期した初心を貫徹し給へ君の頭腦と手腕とは同輩の認むる所であるから餘り營口の誤美人連に引掛りを生せぬやう御用心〳〵(薩摩隼人)

●旅館料理店費消高 結氷中の不景氣は解氷と同時に頭痛鉢卷も解ける如く例の旅館料理店の親方連はドテラ式に待ち構へ居りたるに越中褌と宛事は向ふから外づれる諺に違はず不景氣の度は倍々甚しく結氷中よりは尙一段の不景氣にて今假りに三月中の費消高を揭ぐれば合計僅かに四万六千三百四十三圓七十一錢にして昨年中最も不景氣の月と比較するも殆ど半額に減少せり例に依つて最も揚り高の多き家を揭ぐれは金城館の八千五百九十五圓第三樓六千二百九十六圓祇園閣四千五百卅一圓日本館四千二百圓等なれども懸金其大半以上なりと云ふ因に現在營業しつゝある料理店は總て七十一軒旅館廿一軒なりと

●松榮座の本日狂言 稻葉熊太郎大序より大詰迄其役割は▲熊太郎、權藏(千代化)▲本間仙之亟(美根代)▲源氏ぶし(小美升)●久助、家臣大膳、新三郎(美澤次)▲お袖、武士近藤、(美根六)▲武士、芳松、(美根八)▲武士(美花九)

●社員と番頭の鞘當 永世街の何の邊か聞き漏したるか雜貨を商ふ店の娘お今(一九)と云へるは何處が鶯口に珍らしき奇麗首に出來上つて居る所から近所近邊の若い者は內々思を焦して折りに觸れチヨツカイを極め込む向も少なからさるか何れも見事ズトンの肱鐵砲にあたら器量を下げるも道理このお今には疾くより元神廟街の〇〇組の番頭どん上何とか云ふ優男と切つても切れぬ情交にて毎夜妾しや主のそばよいてふ文句から割出したやうに東庵と云ふそば屋にての逢引を樂み居りしが玆に西北街の某公司の下川なにがしがこの程偶々このお今の一寸仇つぽい肌合に迷ひこみ何處をどう綾くつた糸のからくりやらとう〳〵お今を事件にして後は上何に一切秘密〳〵で巫山戲散らして居たのを早くも上何が嗅ぎ出し嫉妬の焔にウヌ浮氣阿魔めどうしてくれるかと憤怒の心を制し虫を殺して密ゝ兩人の樣子を探ぐり居るとは知らず數日前お今は下川と松榮座に芝居見物に行きたるを認め密かに後を尾行けて已れも亦人知れぬ樣に入り萋え立つ胸を押へて兩人の歸るを待ち居りしがやがて十時頃兩人の睦まじさうに連れ立ちて歸り行くを二本町の角に於てお今を引つ捕へその浮氣を責め付けたるを下川が承知せず此處にて雙方飛んだ鞘當を演じ野暮な立廻りまでもなしたるか近所の人々仲裁して其場は一先づ立別れたるもこれが根になつていづれ又々鞘當の一狂言が持上るならんと床屋で人の話をチヨイと盜み書き如件

火車時刻

關內外鐵道

上り

營口發	前八、二〇	七、〇〇
溝幇子同	九、四五	九、〇〇
錦州同	后一二、四五	二、〇〇
山海關着	六、〇〇	八、一〇

下り

山海關發	前七、〇五	四、四五
錦州同	后一二、五五	二、〇五
溝幇子同	二、四五	四、四〇
營口着	四、五五	七、五一

新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七
溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、五七

東清鐵道

上り

營口發	前六、三三	后九、三三
大石橋着	同七、一〇	一〇、一〇

下り

大石橋發	前八、一五	后一一、一五
營口着	同八、五〇	同一二、一〇

稅關手續
一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
一、日本艀船部、回漕部

諸鐵工製作
汽船機械鐵工
川鐵

梅毒 婦人科 外科 胃腸病
專門日本醫院

天氣
營口地方天氣豫報
自三日午後六時至四日午後六時
南の風 晴

新作小說　おとし胤　（五十三）

德田秋聲

海鹿子爵の洞察は、それまで屆いてゐなかッた。確に禍は、未前に防がれたものと信じてゐたのであッた。これ彼が數年前政界に於ける大失敗と共に、海鹿子爵が一生の違算ではあるまいか。

海鹿子爵は、楯の半面を見てゐた。一面光を能く事理の解る怜しい質と思ふと同事に、一面未だ甚だ邪氣無い少女と信じてゐたのであッた。女でなくては、女の心は解らぬ。母親でなくては、能く娘の胸の奥の秘密は悟まれるもので無い。さしも注意深い海鹿子爵も、光の從順なる態度に惑はされて、その底の底にある强い力を觀破することが出來なかッた。從ッて熱田の事に就いては、餘り多く言を費さなかッた。

話はまた一轉して、自分の愚痴となッた。

「な、光。其方の眼にも、今俺の一家が、何樣な狀態か解るぢやらう。俺の家では、今一家の主權が何處にあるか解らん。俺は無論主人ぢやから、主人の權能で、俺の主張を固持してゐる。ところで、妻といふ奴は、利己主義からして、俺に對抗して、自分の權利を伸張してゐる。權利を伸張するばかりなら可いが、俺を凌駕して、自分の主張を押通さうとしてゐる。母がまた……… 其方に取ッてはお祖母樣ぢや。これが、昔氣質の頑固で、わからずやと來てゐるから妻に同盟して專ら俺を押伏せやうとしてゐる。そして寄ッて集ッて、俺の自由を束縛しやうとするのぢや。尤も俺にはの、種々と失敗があッて、他からは惚けたとまで謂はれて居るのぢやが、家の者と謂はず親族と謂はず、全て俺に反抗しとるのぢや、可いかな。けれども俺は、此の家の主人ぢやから、其方は、何も怖れることもなければ、遠慮することも無い。海鹿家の嗣子は、其方より他に無いのぢやから、その積での、決して屈服してはならんぞ。妻が何んと謂ッても、祖母樣が何んと謂はれても、耳の役目として聞いて置け。また誰のいふことも決して信じてはならんぞ。」

光は、能く此の話を聞いてゐなかッた。何か他の事を考へてゐたのであッた。けれども、能く解ッたやうに點首いた。

「解ッたか、む、解ッたか。」と海鹿子爵は、念を押して、「或る意味からいふと、彼等は、其方の母の讎ぢや。だから、決して負けてはならん、負けてゐてはならんぞ。世の中のことは、全て戰鬪だ。一家內に於ても然うだ、殊に俺の家は然うだ。戰の家にゐるには、戰の家にゐるだけの心掛がなくてはならん。そりや當分は苦しい、其方の壓苦いことは能く解ッてゐる………けれども、何有、少時ぢや、辛抱せい、な、辛抱せい。」

謂ッてゐる折しも、轆々として馬車の車輪の響。それが秋の夜の靜寂を破ッて、遙に町の方から聞えて來る。

「はら、妻樣のお歸館かの。」

と海鹿子爵は、嘲けるやうに謂ッて、熱と其の方へ耳を傾けた。而ると、馬車の響は一臺では無いやうだ。二臺か、三臺か、車輪の響は、ごツちやになッて、長い響を地に曳いてゐる。

海鹿子爵は、訝しさうに首を振ッた。

「はてな、今頃になッて、客かな。誰ぢやらう。」

程なく門內の砂利を嚙むで、三臺の馬車は、海鹿家の玄關に橫付けになッた。玄關の方は、何やらどよめき立ッて、家の裡には急に賑になッた。

海鹿子爵は、光の耳へ囁くやうに、

「其方はの、一足先へ密と室へ歸ッて居れ。そそ何樣なことがあッても、出て來てはならんぞ。今夜は、ひよッとすると一と騷持上るかも知れん。」

騷動と聞いて、光は胃をときつかせ、

「騷動ッて、何樣な騷動でございます。」

「何有、左程心配する程のことでは無い。妻が、味方を驅集めて來て、此の俺を壓伏しやうといふのぢや。今、來た、馬車な。那は皆俺の敵ぢや。」

光は、何んとも謂はれぬ恐ろしさを覺えた。

「敵でございますッて？………」とおど／＼しながら、「その敵が、阿父樣を何うしやうといふのでございませう。」

「何有、何う出來るもんか。心配せんで可いから、よ、室へ歸ッて居れ。」

●滿洲文學の寶庫

奉天城內に在る文溯閣は滿洲文學の寶庫とも云ふべきものにして頗る研鑽に價ある物なるが其を聞くに曾て康熙乾隆の創立の由來盛時に當り淸廷に帝室の圖書を藏する爲め所謂七閣を南北樞要の地に建て即ち北京に文淵閣、奉天に文溯閣、熱河に文津閣、杭州に文瀾閣圓明園に文源閣、楊州に文宗閣、鎭江に文匯閣を置きしに文源以下の三閣は兵火に罹りて燒失し今日殘存せるは文淵、文溯、文瀾、文津の四閣なる由なり就中文溯閣は今尙ほ四庫全書三萬六千冊を藏し特に是等は皆翰林院にて奉寫したる稀有の珍書にて我國に存在せさるもの頗る多く又奉天の西門外に在る皇寺(勅命にて建立せる喇嘛教の大寺院)には西藏、蒙古、滿洲三文の佛經を藏せる由にて是等も亦容易に見る可らさる寶庫なり其他建築に彫刻に繪畫に器具に學藝上の資料とすへきもの尠らす然るに今や幸に此寶庫は我勢力圈內に入りたれは舊國の跡を學んて之を殘暴するとなく永く其保存の道を圖り且つ其扉を開いて之か探究研鑽に努むるは我國學者の任にして又戰捷の光榮に副ふへき最も適當なる事業なりとす

廣告

●森病院
診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
●●●●●●本院齒科開設●●●●●●
（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院
（電話一五五）

●廣島縣人親睦會●
候は春光爛漫として邦土には今や百花の爛熳たる、滿洲に在て觀るに由なく終日俗塵萬丈の巷に馳驅し役々勞作するもの是れを在滿の人に於て見る此際此時吾縣人一堂に會し以て親睦の宴を張り疲憊せる腦底に慰藉を促すと共に已に現下に迫れる平和の戰鬪に對する善後の策を硏究するの又徒事に非さるを惟ひ茲に此事あるを致す幸に我縣出身の志奮て御參會あらんことを希望す
會場　營口河岸通り　日營ホテル
期日　五月十日午後四時
申込所　會場たる日營ホテル　永世街二本町　川本活版所
申込期日　五月八日正午迄
會費　銀貳圓
但會費は申込の際持參の事
明治三十九年四月　日
發起人　一同

社告
今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段廣告候也
大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局
鐵嶺南門內　東雙泰
安東縣新市街　東華公司
新民府　泰東公司

開業
日華貿易兼運輸業
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
元神廟街二四八號（電話局向）
月　日　義安公司
廣告

注意
英國製二連銃中古附屬一切賣却したし御望み之御方左記の所へ御一報被下度
◎
日本郵便局私書函四號　W N 生

入札競賣廣告
一洗石鹼　五百四十九梱但し三箱詰
右物品來る五月十日當行倉庫に於て左の條件により入札競賣に附す
一入札希望者は五月十日正午迄て現品を熟覽の上入札する事
一入札は即時開札す
一落札は最高入札者とす
一落札者は當日現金を以て其代金を仕拂ふ「若し不履行の場合は落札無效たるへし」
松茂洋行

[illegible]船舶代理[illegible]仲立　輸出入稅關手續[illegible]
滊船出入帆案內
日海丸　五月五日出帆
潮洲丸　五月六日入港
汕頭丸　五月六日出帆　門司、神戶行
御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尙御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候
艀船人夫運搬請負　諸品委托賣買
水陸輸送貨物仲次所　倉庫業
西北街　德重洋行

建物賣却廣告
南永世街甲一號（滿洲樓所在）
木造トタン葺家屋　二棟
土屋根支那風家屋　一棟
右本月五日午后一時入札賣却ス
但買受者直ニ解取ル事
右近所玉塚亭ニ於テ開札ス

高野孟矩法律事務所
大連市監部通二丁目五百廿五番地
但高野孟矩不在の節は辨護士戶口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河內町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡橫濱宇都宮神戶廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依賴に可應候

Y
（雜貨商）
本行開設營業已逼一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致餓行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種樽詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也此啓
（元神廟街）
天盟洋行
（電話三百十七番）

滿洲第一湯崗溫泉
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口○―大石橋○―海城○―湯崗溫泉全停車場□―遼陽○―奉天○

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南憲第三十六號
北斗洋行質屋部

和洋雜貨
盛進商行
新着
椅子。卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊ひを願ふ旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候
營口二本町
梅廼家
田村瀧太郎

料理店
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

抽籤の結果左の番號當籤仕候間何時にても景品引替可申候
五月一日
第四六八　シユチンカタウラ　一枚
第三八二　中巾チリメンヒシコキ　一筋
第三九三　銀カワ時計　一個
第二八六　白米四斗俵　一俵
第四七六　サツマカスリ　一反
第三一九　十八金マカイ時計　一個
第四〇五　新ヲメシ　一反
第七六　朝日ヒール　一折
第三〇四　コウモリカサ　一本
第二七五　ユカタ　一反
翁亭

御料理　雪月花
板場新來了料理は高尙ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ會席ノ仕餘ヘ御意ニ從ヒナンヲモヲス
ゲンシン
ピヨガイン
まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓、ふで
全　松吉
全　二〇か
義太夫　牛莊
御客樣方

元神廟街憲甲第二三〇號

宅合名會社支店

當店義都合有之本月限り閉鎖仕殘務ハ現在店後方左側ノ樓上ニテ取扱候間爰ニ從來ノ恩顧ヲ謝シ此段廣告候也

御愛顧ヲ以テ一昨年來特ニ名聲ヲ博シ候 清酒 澤龜 印 ハ從來ノ特約店ニテ一層勉勵販賣仕候也

宅合名會社 營口支店 閉鎖廣告

西分行貿易部ハ此際擴張仕左ノ名義ヲ以テ老爺閣街同盛德院ニ內ヲ引續營業仕候間是又一層ノ御眷顧奉願候也

明治三十九年四月廿五日

宅洋行

白米、魚醤油、酢、木炭、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約其外和洋酒類

營口永世街第廿八號

大原洋行

(營口無比廉價販賣す)

ペンキ塗請負 京阪組

營口豐濟門街李俊宅前

榎本康平

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はす和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一

土木部主任技師 永原万吉

營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)

土木建築請負業 井上公司

萬代不朽

毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり

リサイトは室內装飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)

井上公司

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿州一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

銘酒 白鶴

諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣共是迄の賣段より壹割引 酒及米、罐詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街 井門洋行 電話一八五

遼陽西門外 仝支店

大日本帝國有名方劑

賣藥一切 御化粧品 卸小賣

右內地と同樣の廉價を以て卸小賣共懇切に御用命被下度候 多少に不拘萬事御便利を計り可申候 電話にて御注文被下候へば直に持參可仕候

大阪 回春堂 營口永世街 滿洲總售處 三木洋行(警務課司法部東隣)

同仁堂大藥房 天木洋行(電話百九十番)

日本有名秘藥物售廣告

婦人以泄用香料髮藥切各上及一用香木貨料價格外即克以請者尤及 從以廉比之在日本內地均可無論零賣整賣 警務課東隣 司法部總售處 本店 商人可 中日土 特此告白

同仁堂大藥房(電話百九十番) 天木洋行 啓

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

東營口西北街

裕和盛

電話八一番

東清鐵道 遼河 貨物運送業

雜貨商

新荷着

朝日ビール 日本酒澤の鶴 洋酒、食料品 和洋罐詰、食器 內外煙草、葉巻 エジプト、文具 化粧品、金物類 肥前白米、醤油 酢、木炭、其外 色々

卸並に小賣

彩票

每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣

本店 長崎

支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

發賣 材木 檜子 木波

塩川商會

遼陽小西門內 鹽川商會 建築

外に

電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本

用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

清國營口二本町二五五號

主任 鹽川峯吉(電話一三六番)

關內外廬漢鉄道貨物

一運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候

一海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ

一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一船舶貨物取扱

一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大清通運公司 營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置

營口中央市場前

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎(電話百七十八番)

御席和洋料理 東京樓支店(電話四十四番)

西洋料理仕出し御需に應ず

御披露

今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候

月 日

鐵嶺西門外火神廟六十一號

支店 高砂ホテル

會席料理 三日月

營口警務課前南に入る

稟告

弊樓儀營業以來日尚淺きにも拘らず各位の御引立に依り益々繁榮仕候段難有奉鳴謝候就ては今般弊樓向側木村旅館を讓受け居室を修繕し料理萬端大に改良を加へ旅館營業仕候間弊樓同樣御引立を蒙り度此段偏に奉希上候敬白

月 日

營口永世街五十七號

三日月樓主

和洋御料理 一力

舌代

弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め內地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席装飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候

樓主 敬白

各位

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候 敬白

營口二本町

祇園閣旅館部 主人(電話一四四番)

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一(森病院三軒目)

(電話百二十七號)

マニラ製、エヂプト製紙卷烟草大販賣所(第一市場南側)

當店に於て販賣致候葉卷烟草及紙卷煙草は每二ケ月直接「マニラ」及「エヂプト」より輸入の新荷を以て悉皆引換へ全く新鮮の品より外販賣不致候間一層の御愛顧を給はり度候 尚賣殘りの品は新荷と入替の爲め二ケ月每に競賣に附して賣却可致候

エン、マリホールド

上諭恭錄

初六日奉
上諭直隸天津鎮總兵員缺著張懷芝補授欽此

奏議

政務處大臣和碩慶親王臣奕劻等跪 奏爲遵議裁撤學政請設直省提學使司俾重事權以宏教育恭摺具陳仰祈
聖鑒事竊准軍機處抄交直隸總督袁世凱奏陳學務未盡事宜一摺奉 硃批政務處學部議奏又雲南學政吳魯奏請裁撤學政一摺奉 硃批學部議奏欽此臣等伏查 國初沿前明舊制各省設提學道雍正年間改爲提督學政仰見
列聖建置具有深意要在因時制宜初不拘乎成例現在停止科舉專辦學堂一切教育行政及擴張興學之經費督飭辦學之考成與地方行政在在皆有關繫學政分位較尊事權不屬于督撫爲適體諸事既不便于稟承於地方爲客官一切更不靈于呼應即有深明教育之員補苴一二爲益已尠且各省地方遼闊將來官立公立私立之學堂日新月盛勢不能如歲科各試分棚調考之例而循例按臨更有日不暇給之慮勞費供張無裨實事學政舊制自宜設法變通上年奉 旨設立學部以來臣榮慶等即已籌議及此而督臣袁世凱及學臣吳魯先後陳奏皆以裁撤學政爲請袁世凱所陳已極詳切吳魯現任學政身居局中所言尤爲洞中利弊是學政之應行裁撤內外臣工意見僉同但袁世凱原奏主規復提學道之制近來地方有司辦理新政恒視上司督催權力之所及以爲進退藩臬兩司統轄全省道員則範圍已隘權限稍輕若學政改設提學道恐體制大異于從前督飭或難于見效至吳魯原奏之責成督撫辦理封疆大吏一切吏事兵事財政皆其統籌兼顧勢不能專心教育臣等公同商酌擬請裁撤學政各省改設提學使司提學使一員秩正三品視按察使統轄全省地方學務歸督撫節制于省會地方置學務公所分設總務普通專門實業會計國書六課每課設課長副長課員分曹隸事仿漢代辟召之例選官紳之有學行者由提學司詳請督撫箚派另設學務議紳四人由提學司延訪本省學望較崇之紳士充選並設議長一人由學部愼選奏派其提學司養廉一仍學政之舊仍量加公費以資津貼滾佐薪費皆以公欵支給所有從前之棚規供應一概禁絕其舊有學政衙門之胥吏尤當一律裁革以上各節名實既符權限自明於袁世凱摺內所謂定統系四端吳魯摺內所謂廣籌經費四事斟酌而損益之實力而推行之但使任用得人職務咸理庶幾地方學務日有起色而教育之發達不難矣一俟提學司設立之後其各省學務處即行裁撤所有學務處公所議紳及課長各員之選均由提學司屆時斟酌分別辦理如蒙 俞允即由學部籌擬詳細官制及辦事權限章程續行具奏請 旨其提學司員缺應由學部求博明教育素有閱歷者開單請 簡其各省學政既經裁撤應飭令回京供職提使未經到任以前各該省學校事宜暫由督撫督飭學務處人員認眞經理所有遵議裁撤學政請設提學使司緣由謹會同恭摺具陳伏乞 皇太后 皇上
聖鑒訓示再此摺係由學部主稿會同政務處辦理合併陳明謹 奏奉 旨欽此

中外要聞

●聖恩疊沛　美政府收中國 皇太后所發撫邮散凡西司哥難民銀十萬兩大約該款擬分給無家華人

●美議院對禁工問題　駐美星使電達政府云美議院中人咸以中國抵制美貨之風潮一日不息則該國對於華工入口章程不能寬禁如中國抵制風潮息滅定當從良改訂云

●南昌教案續詳　南昌之案提京議判以來毫無頭緒聞政府將派唐紹儀伍廷芳兩侍郎專議此事
南昌之案法員端貴到京後不認江大令爲被害雖未力持謂江大令爲自刎然其意不外乎此又聞法使亦云清政府應宜從優撫邮江大令云云由此觀之則法人已有自愧之心又聞法人之意謂此次無論如何寧使不要索清政府而決不能認江大令爲被害由此兩事觀之則江大令之非自刎也可見矣昨有人云梁觀察返京覆命時云江大令因見事不了遂自刎以爲了局吾思梁觀察斷不能奏對此語也此等造謠之人殆欲中傷梁觀察耶
政府電致江西巡撫云江召棠一案外部自當秉公磋議務必勸諭士民不得開會演說以生枝節

●蒙邊不靖　有人近由黑龍江省來京路出蒙旗北郭爾羅斯札薩克公爵見該地方不靖民蒙均遭荼毒聞其原因係由故前札薩克公爵數年以前開放荒地適有某喇嘛王持其間公爵懦弱性成任旗員某辦事賄賂公行民情不洽收受多金時起衝突幸江省派人查辦實由旗員協領章京等信用非人已經分別斥革該札薩克亦咎有應得而某喇嘛在逃携帶印文不知去向案結另委幹員佐理旗務該札薩克公旋即病故續由江省派員荒墾均已就緒孰意某喇嘛逃往哈爾濱將前竊出空白印契轉售於俄國人俄人即憑一紙前往收地圖旗大動公憤衆皆歸咎於現佐理旗務之員某喇嘛實爲罪魁也

●外部近事錄　外部將設外交館一節已紀前報茲聞此議係發起於唐侍郎經慶邸允諾連日正計劃此事聞即以外部衙門中之從前同文館房屋作爲外交館不日即將入奏前任駐德星使蔭昌電達外部云德皇以任滿歸國特頒賜寶星一座可否收受祈代請旨示下當即由外部入奏奉旨准其收領昨已由外部傳諭飭遵

●稟辦森林礦產公司　東三省森林最盛從前礙於封禁不自採伐致爲外人所攘現在日本與中國訂約設立中日森林公司故有吉林商人張元綏等近亦集股銀五十萬稟請商部在吉林境內開設森林公司以爭先著又有職商周樹勳稟辦黑吉二省魚鹽林木礦產總公司集股一百萬兩擬即呈請商部立案云

●鐵路需用之資料　澳洲製成一種鐵枕專供鐵路之用有該地商人向該洲士多尼埠之華商某氏將該枕樣寄回中國試用如鐵路有五百英里之長定必合用現今中國所用鐵路之枕以木造成多從日本運來如經數年其木必腐屆時再欲修換需費頗巨云

雜報

●行兇被逮　阜有門內第四區所屬居民王媼家傭僕孟姓昨夕孟仝甲乙濟賭負甲乙洋九毛當因索討格鬥經衆解散甲乙歸宿於第七區內王家飯舖距孟次晨尋至該舖甲乙又追此債致孟刃戳甲之胯間乙股際數傷王媼來視意欲說合飯舖夥等皆不敢呈報該四鄰亦恐結怨莫肯出首正躊躇間時遇七區巡男姚某詢悉原委忿入縛孟吏使一人牽之便問刀置何處孟詭言甲乙之刃被其奪用愈忤姚怒乃批其頰愈迫刀孟決不承認姚以甲創重將孟並乙帶局訊究云

●撤免苛捐　前日有東郵孤山子居民李家有驢兩頭被大石橋卡巡查見當索稅五元旋於稅卡懇納一元罷休已載報端時聞李某并東郵人來云前一日忽有上憲札飭令該稅員將所有淸查圈底苛捐一律撤免不准差役擾累云云鄉民聞知無不額手相慶云

●裁撤營戎　管轄蓋城游擊隊營戎馬君蘭亭其兵隊常因月餉不敷且每延放故時有擾累鄉民之舉省垣大憲早有所聞昨有營兵來埠云馬蘭亭營戎調往河北已被上憲裁革未悉果有其事否

●死於花下　關帝廟北鳳鳴茶園司手巾把之胡姓昨晨出游花巷未歸不知何故傍夕竟呑阿芙蓉膏毒發面黑被其友周某識破急送醫院灌救罔效旱㕈即斃於周處周着人轉送該園當報本卡憲兵檢驗未悉此後如何云

●期行改章　本埠會商公同議妥茶館元豆賒期一事如有買賣者皆按三六九獵四卯冲兌並擬設在關帝閣南宏記東棧擇日叫行云

●行人注意　昨聞北來人云有遼陽商舖某甲南往海城獨行踽々日將夕忽見路旁遺一藍綢新襖襟底若夾手票於內甲急解己之包袱藏訖投止宿店旋來一行人某乙亦宿該店與甲聯臥詎向曉大呼失物着主人冥搜諸客得於甲之包中甲乃賴爲已物乙辯爲同鄉捐寄襟底夾有一函幷注有手票百元云云出視果然甲語塞轉向店主人吐其實情主了然未肯揭其鬼蜮佯爲關說令甲賠洋拾元衣仍歸乙罷休矣

叢談

●寄外書(隱聊目)　牛花館主

蝶睡方酣驪歌忽唱(夢別)十里君行之地(長亭)廿年石上之期(三生)曾有詩云秋波一轉言千萬(瞳人語)步步回頭看阿郎(顧生)爲時東閣名花猶含嫩蕊(小梅)隋隄烟樹初發新枝(柳生)聽燕話之呢喃(鳥語)弄鶯簧而宛轉(口技)轉瞬春歸天上(花神)人到瑤臺(成仙)樹密陰濃(葉生)荷開風送(蓮香)迄今則西風淡泊(素秋)塞雁來賓矣(鴻)當此筠篁添翠(竹靑)籬菊初華(黃英)蟲聲和機韻相催(促織)山色共眉痕並瘦(小翠)朱紘五十綺麗空存(錦瑟)白玦半圭廚蘭猶在(香玉)解舞柔腰正不知消瘦幾許(細柳)落梅五月之時(江城)郵傳檀姐小影一紙(寄牛象)蓮花君貌(王六)兩鬢漸霜(一斑)想見涉浪衝波之苦(水災)懸圖牆上(畫壁)拱璧同珍(連城)惟是君能憐妾痴情(愛奴)妾當報君盛意(小謝)謹呈絳珮一方(紅玉)銀缸兩盞(双燈)敢比瓊瑤之潔(白于玉)聊爲桃李之酬(果報)嗟乎月光如晝(夜明)夜色添寒(冷生)縫遊子之衣裳(紉針)自憐弱質(阿纖)寄深情於楮筆(書痴)宜告遠人(布客)盈盈帶水之間(江中)迢遞關山之外(陸判)倘乞好自衛(保住)珍重萬萬萬萬珍重(四十千)此請晏安(嬰寧)不盡縷縷(連瑣)紅妝女史(胭脂)白氏春駒(粉蝶)拜上

NEWCHWANG, FRIDAY, MAY 4, 1906.

M. Victor von Grosse started by train for Peking yesterday morning. He will thence proceed to his new post Yokohama.

Mr. Hagiwara, the 1st Secretary of the Embassy, who is now at Tientsin, is reported to be due at Newchwang on the 6th inst.

The Rev. Mr. and Mrs. Webster gave a dinner last Wednesday evening, which was attended by Capt. and Mrs. Fawcett, Mrs. Leitch who had returned from Haicheng in the afternoon, Messrs. Bauer, H. F. Bush, F. Farmer, Moore, and Dr. Phillips.

Dr. M. Linzer arrived from Tientsin last Wednesday and is at the "Manchuria."

Dr. T. Tazoe, the Tientsin dentist, who had to put off his departure for a few days in behalf of a case under treatment, has left for home this morning. He has requested us to express his thanks for the courtesy shown him during the 3 weeks' stay.

Two local sportsmen went shooting to the "Eastern Marsh" just beyond Niuchiatun last Tuesday morning and are said to have bagged 51 snipe in less than 4 hours' time. The game must be found thick enough yet, if only one knows when and where to look for it.

This morning (Friday) at 7 a.m., the fire-bells on the top of the tall ladders planted about the Japanese district will ring a false alarm. It is to be the signal for the Japanese fire-brigade to turn out at once, not to put any fire out, but, as is the Japanese custom early in January, to undergo an inspection by the police. The organization and equipment of the brigade has been long completed. We hear that the occasion has been delayed till now this year, partly because of the rigorous winter and for sundry other reasons.

It is learned that the review will be held at the Police Court yard. When it is over, some more agile members of the brigade with acrobatic proclivities will perform, as is usual on such occasion, some curious feats high up on the ladder. Then, they will move, on in a body to repeat the exhibitions successively in front of the Administration Office, the Japanese Consulate, and the Administration Residence.

The s.s. "Wosang" which put out of port yesterday morning had brought from Shanghai Capt. Tadd, Marine Superintendent of Messrs. Jardine, Matheson & Co., to the "Loksang" last Friday. The assured salvage of the wreck is ascribed mostly to Capt. Tadd's clever handling of her.

Mr. McGlew who in a junk had to sail against the adverse wind all the way to North Point, could not get to the destination before Tuesday evening last, when, to his bitter disappointment, he learned of the wreck's steaming off to the safer shoal just a day before. He immediately turned back homeward sailing all night under a favourable breeze and returned a little after noon yesterday.

Mr. McGlew has given us a sketch of the bight, the scene of the recent accident. He said: "An almost perpendicular cliff rises some 500 ft. high from the water's edge, looking as if it might topple over at any moment. Underneath this mass of sandstone rock, there lies a strip of the beach barely 20 yards wide. It is paved with pebbles so neatly indeed as to remind one of artificial arrangement.

The latest Tokyo advices state that, in the Grand Military Review on the 30th ult., 2,124 officers and 29079 non-commissioned officers and men and altogether 119 regimental colours participated, extending the length of the entire marching column to 7½ miles.

H. I. M. the Emperor held a banquet on the most extensive scale on record at the Imperial garden at Shinjiku, Tokyo, on May 1st. 6,300 officers of Army and Navy were present, who each received a silver cup for a souvenir.

His Majesty separately called into his presence the bearers of the highest decorations, Marshalls, Fleet-Admirals, Ministers of State, and full Generals, (50 in all), and toasted his health. The other generals and admirals numbering 150 and 96 junior officers who have earned the certificate of merit during the late War were summoned in groups and similarly honoured.

Marshall Marquis Yamagata, under Imperial permission, led the chorus of three cheers for His Majesty.

Viscount Hayashi, Ambassador to London, who is on his way home on leave, received calls from the Consular representatives at Shanghai and left for Japan on the 30th ult.

行 ... 北京 天津 ... 山海關着 ... 大連着 ... 昌圖着
宮原公司　市場北三階樓 時計店ノ二階　保管可申候
土木建築用材料一式 其外鑄物諸般
場 報
昨日の氣温 最高温度七十三度 最低温度四十八度 昨年と比 高十二度六 高十度四

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理　第一樓　營口ホテル　元神廟街九十六號（電話八四番）

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主　麻田久二

旅館　大和館　永世街三十四號店主前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主　直塚勝一

料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町三百五十九号　店主　和田常松

和洋御料理　公樂園　南永世街

東京生蕎麥　一式　東庵　元神廟（電話百五十九）

旅館料理　金城ホテル　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主齋藤富次郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　營口元神廟街
さるそば　第二更科　永世街鶴の湯角

御料理並ニ溫泉　一力　毎日新湯　營口永世街　店主　堀万助

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　住松信大益

料理　都樓　平野町　店主　坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館　奉天館　奉天城內鐘樓南大街　奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理　日清倶樂部　奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　奉天小西關大街北側（電話　號）

溫泉付大勉強キレーデヲイシヒ

旅館料理店　日の出樓　奉天小西門通（元紅葉館跡）　樓主　大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主　入江龍男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　奉天城內灰市街東華門宮殿東側　館主　押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店　大和館　奉天大西關高臺子廟前　館主　今井コノ

旅館　大正館　奉天小西邊門外十間房道北側　館主　大草村行

旅館御料理　髙砂館本店　奉天十間房第十五號

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上

旅館料理　奉高館　高砂館支店　奉天城外廿四號　店主　宇本智平

旅館料理店　日奉館　奉天小西門外大街　館主　原田清五郎

高等旅館　東洋館　奉天大西門外小什字街（電話號）　主任　藤島初野

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

旅館料理店　勉強館　奉天小西關外北長發園隣

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　奉天小西關大什字街南へ入

牛肉すき燒　雞肉　日章亭　奉天小西關（電話　號）

旅館料理店　旭館本店　旭館支店　奉天十間房　館主　原田新吉（電話　號）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　林德松

御料理會席　菊水館　主任　朝枝團𨑕

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀨宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　凱旋亭　色々應御注文　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席　玉家　御料理　主任　西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任　石田清

和洋御料理旅館　滿洲ホテル　遼陽西街西門一二七号　上松榮治郎

一和洋御料理　遼東館　遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

御料理旅館　扶桑館　奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号　館主　堀田ハル　電話　号

奉天大小西關新來當街々　御料理本店　金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街　御旅館　金城ホテル（電話二〇）
營口永世街　御料理支店　金城館（電話八三）
營口永世街　御旅館支店　金城ホテル
大連市吉野町　御料理支店　金城館
大連市吉野町　御旅館支店　金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡て注意仕り各位の御意に反かざる樣一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとこゝに一言申添置候

各位樣

和洋會席　御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町　日本館（電話百三十）

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候　敬具

活版印刷并に製本

弊所特色
- ●印刷鮮明
- ●價格低廉
- ●叮嚀專一
- ●期日正確

營口入口永世街東二本町角　川本活版所

美味安價西洋料理　牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

五月一日開業

東京新臺到着

今回主人直接東京へ出張無類の好臺を手に入れ參り候間何卒御來遊奉願上候

五月六日玉大競技會

元神廟街　第二軒（第三樓の向横町）

着荷廣告

筑前博多單帶、全伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、輕便水泥器械、洗桶、專賣特許米洗器、等勝手道具いろいろ　萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、

營口　加藤洋行（電話八十番）

四月十八日ヨリ全廿八日マテ本社事務員全診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候

明治生命保險株式會社牛莊代理店　加藤洋行

第二回新荷着

金舛洋行　盛進商行

爲替相場（五月三日）

日本向　百〇一圓（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩二十五錢（同）
天津向　一百〇二圓八十七錢五厘（百弗に付）
[illegible]

日本品最近物價表　加藤洋行

紙類
- 一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
- 一美濃紙　全　七圓五十錢
- 一仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢
- 一全狀袋　二十枚綴　三錢二厘以上四錢
- 百枚　十三錢以上十八錢

室內裝飾品及寢具　矢野洋行
- 一蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
- 一座ブトン　十帖　五圓五十錢以上三十五圓
- 一疊　一薄樣　二圓六十錢以上三圓
- 一麻縦通　十枚一疊敷　八圓
- 一綿縦通　全　三圓五十錢
- 一由加多織　全　一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙
廣告　二十一字詰一行一回　銀二十仙